

聞かせてください、あなたのホンネ

Q. SNS上のデマやフェイクニュースが問題になっています。一方でSNSによりこれまで得られなかった情報を得られるとの意見もあります。あなたはSNS上の情報とどう接していますか？（基本的に信じる=100、まずは疑ってかかる=0、とした場合）

- 100-80
○ 80-60
○ 60-40
○ 40-20
○ 20-0

前回のアンケート

Q. 2-3年以内に台湾有事が発生するリスクが指摘されています。様々な事態が想定されますが、仮に与那国空港や那覇空港の滑走路が突如中国軍のミサイル攻撃を受け破壊されたものの人的被害はまだ生じていない場合、日本はどうすべきとお考えですか？

- 第二波攻撃の抑止のためにも、日本の領土への攻撃に対しては個別的自衛権を発動し即座に反撃すべき

86%

- 攻撃を受けたとしても中国を刺激すべきでなく、人的被害が生じていない段階では反撃すべきではない

14%

(2025年11月5日時点)

ホームページ・
スマートフォンから
投票できます！



過去の結果は www.suzukikeisuke.jp でご覧ください。

プロフィール

- ▶ 目黒区立不動小、開成中・高、東大法卒(在学中はボート部に活躍、アメフトも経験)
- ▶ 大蔵省、福岡国税局、ジョージタウン大外交大学院フェロー、在NY副領事、厚生労働省(出向)勤務を経て、平成16年冬に日本の将来に危機感を抱き政治への挑戦を決意。平成17年8月、霞ヶ関を飛び出す。
- ▶ 途上国支援、国際金融、高齢者・障害者政策の企画立案に加え、福岡で地方の中小企業経営の苦しい実態を学び、米国では9.11テロを体験。
- ▶ サラリーマン家庭(父は千葉県、母は八王子市出身)の長男として昭和52年2月生まれ。
- ▶ 衆議院議員(6期目)。法務大臣、外務副大臣、財務副大臣、国土交通兼内閣府大臣政務官、予算・財金・外務・TPP・議運委各理事、青年局長、台湾PT座長、企業会計小委員長等を務める。
- ▶ 行動する改革派として、無駄削減、道路財源一般財源化、北朝鮮・中国問題、台湾政策、温暖化対策等に積極的に取り組む。法人税引下げも主導。



新 神奈川7区 (横浜市港北区)



衆議院議員 鈴木けいすけ事務所
自由民主党神奈川県第七選挙区支部

〈地元事務所〉

横浜市港北区新横浜3-18-9
新横浜ICビル102号室
TEL.045-620-0223
FAX.045-620-0224

E-mail: office@suzukikeisuke.jp鈴木けいすけの
最新情報をお届けします。

X

@SuzukiKeisukeMP



Facebook

www.facebook.com/suzukikeisuke.jp/公式
ホームページwww.suzukikeisuke.jp

国政ニュース

No.42

新しい自民。
新しい日本。

鈴木けいすけ

自民党 衆議院議員(横浜市港北区)

INDEX

- 鈴木けいすけの直言
「法務大臣を退任して。」
- 今月のチャート
「金価格の動きが意味するもの」
- アンケート
「SNSとフェイクニュース」

前 法務大臣
元 外務副大臣
元 財務副大臣

48歳

討議資料

鈴木けいすけの直言

法務大臣を退任して。

2025年(令和7年)10月21日を以て、法務大臣の職を辞しました。今後は自民党における常設の最高意思決定機関である総務会の副会長、衆議院内閣委員会と党筆頭理事など、党や国会での仕事を中心に政策の企画・立案に携わることとなります。引き続き全力を尽くしてまいります。



法務大臣在任中は、皆さまのご期待にお応えし幅広い所掌分野のそれぞれの政策を前に進めるべく、全力で取り組んでまいりました。私としては特に、①注目が高まっている**外国人政策**について、「**不法滞在者ゼロプラン**」を5月に**策定し即時実施**をし、現在多くの国民の皆さまが不安をお持ちの**不法滞在外国人問題の解消に向けた取り組みを進めた**こと、②異例ではありましたが、2月に法務大臣のもとに私的勉強会を設置し、約半年にわたる討議を踏まえて、**今後の外国人政策の発射点となる「外国人の受入れの基本的な在り方の検討のための論点整理 ～活力ある強い日本の実現／国民の安全・安心の死守～」**を8月に公表し、**中長期的な日本社会と外国人受け入れの在り方に関して**

今後の外国人政策の道筋を一定程度つけることが出来たこと、③**台湾有事に備え**、法務省が所管する**避難民対応**の抜本見直しを行ったこと、④**経済安保的観点**や**企業の実務負担軽減の観点**か

ら**会社法等の見直し**への動きを加速できたこと、⑤**中国の軍事的脅威に対応するため、ASEANに加え、地政学的に重要な中央アジア・太平洋島嶼国との関係を強化**し、特に中央アジアとは法務大臣会合の枠組みを創設したこと、等において「違いを創る」ことが出来たのではないかと考えています。もちろん、こうした諸分野についても、まだまだ道半ばですので、引き続き法務大臣経験者として貢献してまいります。



同時に、現在我が国が置かれている状況には極めて厳しいものがあります。**物価高や円安基調、諸外国に比べ弱いと言われる経済成長力、台湾有事リスクをはじめ、中国の軍事圧力により厳しさを増す東アジアの安全保障環境**など、内外の諸課題が山積しています。立ち止まることは許されませんので微力ではありますが、高市政権を支え、全力で日本を前に進めることが出来るよう頑張っ

Let's talk with
鈴木けいすけ

日本の未来をともに語りませんか？

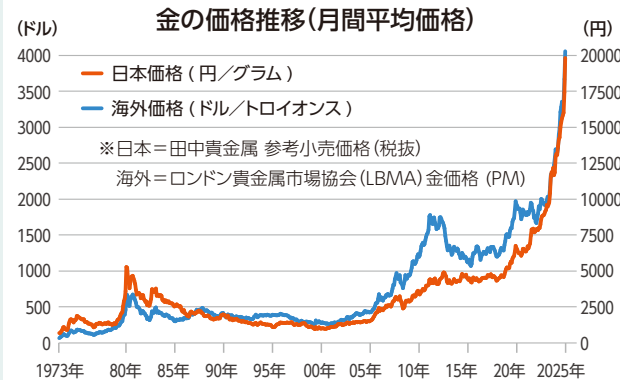
- 鈴木けいすけは、主権者の皆さまとの対話こそが政治の原点と考えています。ご近所の方、お仲間でお集まりのとき、お話にうかがいますのでお気軽にご連絡ください。(30分～1時間程度・場所は応相談)
※なるべく10人以上でお願いします。
- 国会見学のお申込みも受付中です！
- ボランティアスタッフも随時募集しております。

鈴木けいすけ事務所 連絡先

☎ 045-620-0223 ✉ office@suzukikeisuke.jp

今月のチャート

「金価格の動きが意味するもの」



金の価格の高騰が続いています。背景としては地政学的なリスクの高まりや、ドルの信認が低下しているに伴う、各国中央銀行の外貨準備のドルから金への転換、中央銀行の金融政策等に伴うドルや円の価値の相対的低下などが指摘されています。

投機的な動きもあって、一時期急激に上昇しその後乱高下するなどの状況が見られましたが、トレンドとしては確実に金の価格は上がっています。それはある意味で、**過剰な資金供給、カネ余りと言われる世界の状況を反映して、通貨や貨幣の価値が下落する(イコール物価が上がる)インフレのひとつの象徴的な動き**ということもできます。

今の金価格が示唆するような**「悪いインフレ」といわれる状況とならないよう、経済成長力強化と物価高騰対策の双方を見据えた適切な金融政策、財政政策、経済政策の運営**が求められます。